



にじのはし幼稚園 園だより



令和 7 年 11 月 号
港区立にじのはし幼稚園
園 長 飯 田 美 弥

少しずつ秋の気配を感じるようになりました。10月当初は、日中がまだまだ暑く、半袖で過ごす日も多くあったのが嘘のように、朝晩が急に寒くなり、昼には日なたが心地よく感じられるようになりました。今年も冬が早めにやってきそうではありますが、実りの秋をしっかりと味わい、心と体を満たして冬に備えたいと思います。にじのはし幼稚園では、ミカンやカキなどたくさんの実がなっています。また、春に植えたサツマイモを収穫する時期でもあります。まさに「実りの秋」を体験している子どもたちです。



さて、港区立幼稚園では今年度、各園で国際理解ウィークを設定しています。本園ではそれに先駆けて秋のお茶会を行いました。着物を着た先生からお茶をいただく経験は、日本の伝統文化に触れるいい機会となりました。



国際理解ウィークのメインデーとして、ワンデートラベルデーを開催しました。この日は、NTが7名派遣され、子どもたちと一緒に海外旅行のイメージでごっこ遊びを楽しみました。昨年5月から行われているNTとの活動は、単に英語の活動ということではなく、遊びを通じた総合的な指導を行う幼稚園の特色を生かして、国際理解の意識の芽生えを培うというねらいがあります。この日は、5歳児いるか組が前日に飛行機を作って海外旅行の準備をしました。どのクラスも乗れるように席を準備したり、どうやったら本物らしく見えるかも考えていました。当日は電子黒板も活用し、コックピットからの映像を流すことでより飛行機に乗った気分を味わうことができました。急遽参観の機会もつくりましたが、交流の様子を知っていただけたのではないかと思います。幼児期からの一貫した国際理解教育のためのNTの配置であることをご理解いただけたらうれしいです。引き続き遊びの中で楽しみながら自然に英語や他国の文化に触れることと併せて、日本の伝統文化に触れることについても、本園の特色として大切に積み重ねていきたいと思っています。

11月11日からは、令和7年度の新入園児の募集要項・申込書の配布が始まります。詳細は区報、ポスター、区のHPからご覧いただけます。是非、近隣の方にお知らせください。

幼稚園経営計画 今年度の主な取り組みからの抜粋

(1)日本の伝統文化や他国の文化に触れ、国際理解につながる経験を充実させます。

- ①学校2020レガシーの「日本人としての自覚と誇り」を重点とし、季節の伝統行事やお茶会など、伝統文化に触れる機会を大切にし、日本文化の良さを感じさせ、小中につながる国際理解の意識の芽生えを培います。
- ②国際理解の意識の芽生えを培うため、幼稚園NT(ネイティブティーチャー)と連携し、自国・他国の文化や英語に触れる活動を実施し、異文化への興味をもたせ、異なる文化をもつ人々への受容や共生への態度・能力の基盤を育成します。